

令和7年度
長崎県学習者用コンピュータ
機器仕様書

長崎県教育の情報化推進協議会

【全機種共通的必須事項】

- (1) 本調達の範囲は、端末の納品及びキittingまでとし、その後の設置及び設定作業、納入時期・場所等に係る最終調整は、各共同調達参加団体の担当者（以下、担当者という）と個別協議すること。
- (2) 本仕様書に規定されている事項又は解釈に疑義のある事項については担当者の指示又は承認を受けること。
- (3) 納入する機器類は、原則、それぞれの通信モデル（WiFi モデル、LTE モデル）毎に同一製造会社の同一型番であること。
- (4) 特に指定のない限り納入時における最新の機種及びバージョンのものを導入すること。
なお、サプライチェーン・リスクに考慮した端末を選定すること。
- (5) 納入する機器類は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に準拠したものであること。
- (6) 納入する機器の全てについて、必然的に必要となる物品については、仕様書記載の有無にかかわらずすべて納入すること。
- (7) 端末の管理ツールに登録するために必要な端末情報について納入学校ごとに紙及びデータ形式にて提出すること。
- (8) 納入する機器について事前（納期前）に実機による機能審査を行う場合があるので、求められた場合は速やかに応じること。
- (9) 初期不良品については、速やかに交換等の処置を行うこと。その際には指定された設定やソフトウェアのインストール等を実施したうえで、当初の設置場所に設置し、速やかに障害原因及び処置について担当者に報告すること。
- (10) 契約後に適合規格審査時に提出した物品の納入が困難となった場合、協議会に対して書面にて協議した上で、同一製造会社の後継機種又は上位機種、若しくは同等性能を有する機種での納入を可能とする。但し、仕様及び契約金額の変更はないものとする。

【保守対応について】

- (1) 入札機器には、1年以上のセンドバック方式によるメーカー無償保証があることとする。
- (2) 無償保証期間内の端末不調時には、メーカー送付から2週間程度で修理又は交換対応を行うこと。なお、無償保証期間外においても、別途有償にて交換対応できるメーカーを選定すること。
- (3) 有償の保守委託（購入後5年保守）については、選択制とし、センドバック方式による保守とする。
- (4) 有償保守契約期間中（購入後5年）の端末不調時には、メーカー送付から2週間程度で修理又は交換対応を行うこと。なお、定期交換部品の無償交換（バッテリー交換等）は含まない。

【端末の運搬・設置について】

- (1) 端末の運搬先は、別紙1の配送先の1か所に配送すること。また、各配送先の配送場所は、担当者と確認するとともに、学校へ配送する場合には、学校の受け取り担当者とも事前に確認すること。

【キッティングの内容について】

機器のキッティングは、次の①～⑥の内容を想定しているが、最終確認は担当者で行うこと。
また、キッティング完了時に「児童生徒の手に端末が渡った際、それぞれの ID 及びパスワードを打ち込むことで児童生徒が使用できるようになる状態」とすること。

- ①機器の管理番号の作成
- ②機器の管理番号の添付（テープラベルの添付）
- ③不要な梱包物の撤去・処分
- ④プロビジョニング及び MDM の設定
- ⑤SIM カードの挿入（LTE モデルの場合）
- ⑥納品時点での最新 OS へのアップデート

※④⑤については、想定される手順を別紙2に例示している。本手順を基に、担当者と最終確認を行うこと。

【各機器仕様について】

Microsoft Windows、Google Chromebook、Apple iPad の各機器の使用については、別紙3のとおりである。

別紙 2

キッティング（プロビジョニング作業）の手順書（例）

本手順書はあくまでも作業手順の例としており、最終的な作業手順の確認は、各担当と確実に行うこと。主に ChromeOS、WindowsOS の作業手順を示しているが、iPadOS においてもキッティング完了時に「児童生徒が ID やパスワードを入力することで、使用可能となっていること」としている。

（1）ChromeOS 場合

【Wi-Fi モデルの場合】

- 1 Chromebook 本体の蓋を開くと自動的に電源が入る
自動的に電源が入らない場合は、電源ボタンを押し電源を入れる
- 2 使用するネットワーク（SSID）を選択する。
- 3 Wi-Fi ネットワークのパスワードを入力する。
- 4 [同意して続行]を押す。
- 5 指定するメールアドレスがある場合は入力する。
なければ、Ctrl+Alt+e（Ctrl、Alt、e）を同時に押す
- 6 メールアドレスに、教育委員会指定のキッティング用アカウントを入力し、[次へ]
- 7 教育委員会指定の通知のパスワードを入力し、[次へ]
- 8 文章を下にスクロールし、[同意する] ※この画面が表示されなければ 10 へ進む。
- 9 画面が変わるまで待つ（15 秒～30 秒）
- 10 アセット ID を入力し、[次へ]
※ アセット ID は、Chromebook 本体の個別シールと一致させること
- 11 [完了]
- 12 [終了]

【補足事項】

- 1 ChromeOS のバージョンは、キッティング時の最新とすること。
 - 2 納品先の学校および教育委員会では、Chromebook を起動し、ログインしない状態で、新しい無線 LAN 環境下にて RADIUS 認証用 SSID に接続して、ログイン画面に移行することを確認すること。
 - 3 キッティング終了後、シリアル番号・アセット ID 等の情報について求められた場合は、管理コンソールから出力したデータを送付してもらい、納品先学校名を追加して、完成図書として添付すること。
-

【LTE モデルの場合】

(S I Mカード挿入前)

- 1 Chromebook本体の蓋を開くと自動的に電源が入る
自動的に電源が入らない場合は、電源ボタンを押し電源を入れる
- 2 使用するネットワーク (SSID) を選択する。
- 3 Wi-Fiネットワークのパスワードを入力する。
- 4 [同意して続行]を押す
- 5 作業用のメールアドレス及びパスワードを入力する (責任者から通知)
- 6 「同意する」を選択する (表示しない場合あり)
- 7 「続行」を選択する (表示しない場合あり)
- 8 アプリ一覧から「管理」を選択する
- 9 「デバイス」を選択する
- 10 「Chromeデバイス」を選択する
- 11 左側の学校名一覧から対象の学校の児童生徒を選択、設定中の機器のアセットIDを選択する ※検索することも可能
- 12 シリアル番号を選択する
- 13 下へスクロールしていき、メモを選択する
- 14 メモ欄にS I Mカードの電話番号を入力し保存する。
- 15 電話番号が入力されていることを確認する
- 16 デスクトップ画面右下のログアウトを選択する

(SIM カード挿入)

- 17 SIM カード挿入口にある穴に治具を差し込み、ホルダを取り外す
- 18 カードから挿入する部分だけを取り外す (金色に触れないように)
- 19 ホルダに SIM カードを相殺する (向きや方向に気を付ける)
- 20 端末本体にホルダを搭載する (SIM カードが外れたり、ずれた状態になったりしないように十分注意する)
- 21 SIM カード搭載部を封滅シールで隠す。(穴が隠れるように)
- 22 SIM カードを取り外したカードに装置名ラベルを張り付ける

(SIM カード挿入後)

- 23 本体を起動する
- 24 キャリアを選択する
- 25 保存を選択
- 26 LTE 接続になっていることを確認し、LTE を選択する
- 27 キャリアを選択する
- 28 Wi-Fi 接続を ON にする (モバイルデータは ON にしたまま)
- 29 指定の Wi-Fi を選択する
- 30 接続済みになっていることを確認する
- 31 確認後ログアウトをし、作業用のアカウントを削除する

【補足事項】

- 1 ChromeOS のバージョンは、キッティング時の最新とすること。
 - 2 納品先の学校および教育委員会では、Chromebook を起動し、ログインしない状態で、新しい無線 LAN 環境下にて RADIUS 認証用 SSID に接続して、ログイン画面に移行することを確認すること。
 - 3 キッティング終了後、シリアル番号・アセット ID 等の情報について求められた場合は、管理コンソールから出力したデータを送付してもらい、納品先学校名を追加して、完成図書として添付すること。
-

(2) WindowsOS の場合

(事前準備)

- 1 ハードウェアハッシュの取得・登録
- 2 端末展開用グループの作成
- 3 展開プロファイルの作成・割り当て※各自治体によって内容が異なる
- 4 Microsoft EntraID 及び学習 e ポータルの設定
(学習 e ポータルと連携している場合)
 - ① 学習 e ポータル上でユーザー追加、編集、削除した際、自動で EntraID に反映させる設定
 - ② 上記①の設定時、教員・生徒ごとに自動で適正網ライセンスが割当たる設定
※A3 または A5 ライセンスの場合

(開梱)

- 5 箱を開梱し、Windows 端末を取り出す
- 6 所定の場所にラベル貼り付け

(起動)

- 7 電源を入れる
- 8 言語の設定→日本語
- 9 キーボードレイアウトの設定→Microsoft IME
- 10 2つめのキーボードの設定→スキップ
- 11 ネットワークの接続
- 12 Microsoft アカウントでサインイン（市町からの指定）
- 13 翌日以降に自動で利用者情報（ID 等）と端末情報を紐づける設定を行う。

各機器仕様について

Google Chromebook

OS	ChromeOS
CPU	Intel Celeron Processor N100もしくは、メディアテック520と同等以上 ※標記製品に限定するものではない ※自動更新ポリシーが2033年以上であること
ストレージ	32GB 以上
メモリ	4GB 以上
画面	11～13インチ、タッチパネル
無線	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/ax 以上
周辺機器	ハードウェアキーボード及びタッチペン デタッチャブル型もしくはコンバーチブル型 ※デタッチャブル型の場合、接続部分はマグネットであること ※タッチペン内蔵型又はペンシルタッチ機能を有していること ※ペンシルタッチ機能を有している端末の場合、端末本体内蔵式の静電容量式かつパームリジェクション機能を有しているタッチペンを市町の希望に応じ準備すること
カメラ機能	インカメラ及びアウトカメラ
音声接続端子	マイク・ヘッドフォン端子を1つ以上有していること
外部接続端子	USB3.0 以上の規格であって USB Type-C PD(Power Delivery)に対応したポートを1つ以上有していること
バッテリー稼働時間	10時間以上
重さ	1.4kg 程度を超えないこと(本体及びハードウェアキーボード)
端末管理機能	以下の設定をネットワークを介して行うための端末管理機能(MDM)を有していること ・端末にログイン可能なユーザに関する制御設定 ・端末が利用するソフトウェア、拡張機能等の配信設定 ・接続先ネットワークの制御 ・紛失・盗難時の制御設定 ※Google が提供する CEU(Chrome Education Upgrade)もしくは GGL(Google GIGA License)のうち別紙1の市町が指定する MDM を導入すること。
その他	1 端末を適切に運用するため以下の機能を有していること 適切なセキュリティ対策としての以下の機能 ・マルウェアから端末を保護する機能 ・ストレージにデータを暗号化して保存する機能(必要に応じて利用可能であればよい) 2 「MIL-STD 810H」に準拠か同等以上の耐久性を保持していることと同時に落下テスト及び振動テスト、粉塵テストをクリアしていること 3 Google の認定を受けた製品であること。Chrome OS を搭載していても、Google が認定していない製品は対象外とする

※例示品

メーカー	型番	URL
Lenovo	500e chromebook Gen 4s	https://www.lenovo.com/jp/ja/p/laptops/lenovo/lenovo-e-series/lenovo-500e-chromebook-gen-4s-11.6-inch-intel/len10110049?orgRef=https%253A%252F%252Fwww.bing.com%252F&msockid=21427e5da32464471b056bf3a217656e
HP	HP Fortis x360 MK G5 Chromebook	https://jp.ext.hp.com/content/dam/jp-ext-hp-com/jp/ja/ec/lib/doc/catalog/pdf/chromebook_fortis_x360_g5_spec.pdf?msockid=21427e5da32464471b056bf3a217656e
ASUS	CZ1104FM2A-NS0047	https://www.asus.com/jp/laptops/for-students/chromebook/asus-chromebook-cz11-flip-cz1104f/
Acer	R756T-N14N	https://www.acer.com/jp-ja/chromebooks/acer-chromebook-spin-511-r756tn/pdp/NX.KEASJ.002